

令和4年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

豊かな心をはぐむ教育の推進

<h3>1 一人一人の児童生徒の尊重</h3> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。</p>	<h3>2 友達への思いやり</h3> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<h3>3 道徳・心の教育の充実</h3> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）</p>
<p>【学校から】学校教育活動全体で、児童の自己肯定感を高め、共感的人間関係の育成に力を入れている。児童が「一人一人が大切にされている」「友達となかよくしている」両項目で評価が高いのは、取組みの効果の現れと捉える。今後も一人一人を大切にされた教育の充実に回り、学校と家庭との双方向の理解が高まるよう努力する必要がある。</p>		

確かな学力を育む教育の推進

<h3>4 意欲的な学習態度</h3> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<h3>5 授業力向上</h3> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<h3>6 ICT活用</h3> <p>子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。</p>
<p>【学校から】児童が主体的・協動的に学習に取り組むように、教師は「めあて、対話、振り返り」を取り入れ、効果的にタブレット端末を活用した学習内容を工夫している。新しい学習スタイルへの転換で児童の意欲も向上している。さらに学力が向上するように一人一人の実態に応じた指導の充実を図っていく。</p>		

<h2 style="text-align: center;">健やかな体を育む教育の推進</h2> <h3>7 健康づくり</h3> <p>子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p> <p>【学校から】食事・運動・睡眠に関して、児童・保護者と教職員では、受け止めに差がある。健康的な生活に関する共通理解を図りながら、児童が自身の健康について考えることができるようにしていくことに取り組んでいる。</p>	<h2 style="text-align: center;">いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実</h2> <h3>8 児童生徒理解</h3> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていると思いますか。</p> <p>【学校から】本校は、いじめや問題の早期発見・早期解決のために毎月「きずなアンケート」を実施したり、特設の「教育相談日」を設定したりしている。さらに、児童や保護者が相談しやすい環境を整えていく。児童との対話を重視し保護者への説明を丁寧に行いながら、一人一人を大切にされた教育の推進を図っていく。</p>
<h3>9 いじめや問題への対応</h3> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>	

特別支援教育の推進

<h3>10 学校の支援体制</h3> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>	<h3>11 共生社会を担う人材の育成</h3> <p>「交流及び共同学習」等の実施は、相互理解の促進につながっていると思いますか。</p>
<p>【学校から】交流学習の実施は、児童にとって日常の学校生活になっており、将来、共生社会を担っていく上で大切な資質が育まれる。児童が相互理解につながっている実感をもつような交流の工夫をしていく必要がある。また、家庭との共通理解を図りながら特別支援教育を推進していく。</p>	

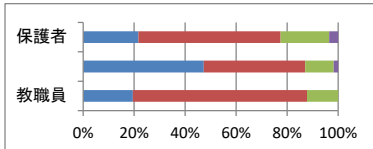
子どもたちの身近な安全対策の充実

<h3>12 安全と事故防止</h3> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p>	<h3>13 施設・設備の安全管理</h3> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>
<p>【学校から】本校区は交通量の多い狭い道路が多く、交通安全指導を家庭や地域と連携しながら指導していく必要がある。</p> <p>【学校から】毎月、月始めに全職員による安全点検を行っている。必要がある箇所については早急に対応している。</p>	

最適な学習環境の整備

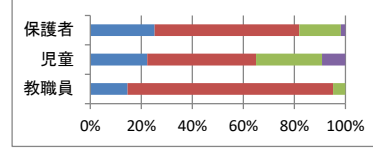
14 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



15 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

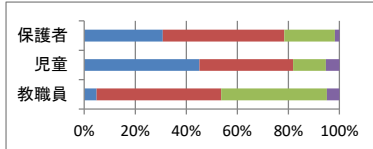


【学校から】「家庭や地域との連携・協力」について、児童へは「自分が地域と関わりのある活動をしているか」という内容でアンケートを行った。今年度は少しずつPTAや地域の行事が再開されており、今後は地域と連携した教育活動の推進で、児童が自分の役割を実感できるようにしていく。そのためにも、本校の教育目標を保護者や地域にわかりやすく示し、連携・協働できるよう努力していく。

本校の教育

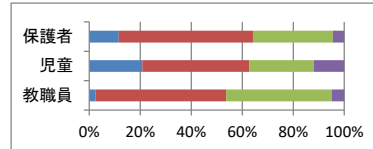
16 あいさつ

子どもは、進んであいさつができていると思いますか。



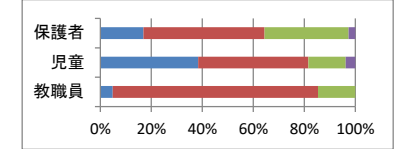
17 丁寧な言葉づかい

子どもは、丁寧な言葉づかいをしていますか。



18 進んで学習

子どもは、進んで学習をしていると思いますか。



【学校から】児童や保護者が「あいさつ」に関する肯定的評価が8割であるのに対し、「丁寧な言葉づかい」に関する肯定的評価は6割と差がある。今後も進んであいさつをしたり、丁寧な言葉で人とコミュニケーションを図ったりすることの大切さを指導していく。「進んで学ぶ」に関して、昨年度よりも肯定的評価が増えている。豊かな心を持ち自分や周りの人を大切にする児童の育成に向けて、今後も家庭と連携して教育活動を推進していく。

来年度の具体的な取り組みについて

- 「自分や周りの人を大切にするために『気づき・考え・行動する子ども』の育成」に向けて、「挑戦」と「感謝」をキーワードに、全職員で児童の自己肯定感を高める教育を推進している。次年度も、保護者と地域の人々と連携・協働し、主体的に考え、行動する力を育てていく。
- 新しい学びの実現に向けて、一人一人の実態に応じた指導の工夫で、主体的・協働的に学ぶ児童を育てていく。
- 児童がよりよい人間関係を築くことができるように、心の教育の充実を根拠に、言葉の力・伝え合う力を育てていく。
- この3年間は、授業参観や懇談会、学習発表会の中止で、児童の学習活動を保護者に参観してもらう機会が少なかった。保護者にとっては、学校の様子がわかりにくく、そのことがアンケート結果に表れていた。
- 次年度は、学校と家庭と共通理解を図り、連携・協働していく機会を増やしていく。
- 地域と連携した学習活動の工夫を行い、児童が多様な人々とふれあう体験の機会をさらに増やしていく。そういった取り組みを通して、地域に学校の教育方針について理解してもらい、地域と連携した教育を推進していく。

学校関係者評価

- 「家庭や地域との連携協力ができているか」の項目で「どちらかというできていない」という回答が多かった。コロナ禍の3年間、以前行われていた行事や地域の方との交流学習の機会がもてず、学校の目標や様子が伝わりにくかったことは反省点である。
 - 「あいさつ」に関しては、昨年度の評価から比べるとよくなっているが、「まだ十分ではない」といった意見もあり、課題の一つである。
- 今後も、細やかに情報の発信に努め、学校関係者からの貴重なご意見・ご助言をもとに地域と連携・協働した教育活動を推進していく。